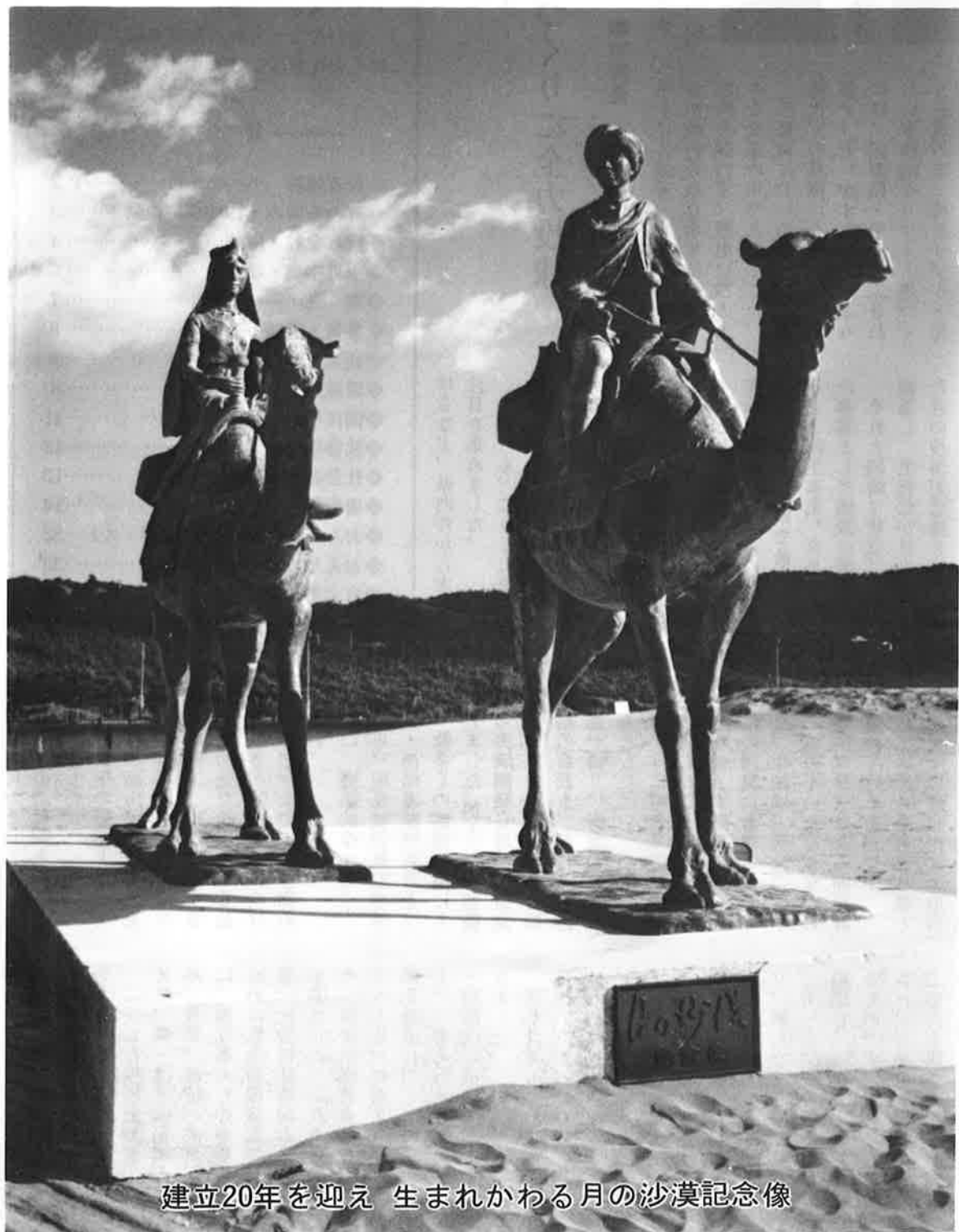


おんじゆく

第314号

町勢特集号

平成元年12月



建立20年を迎え 生まれかわる月の沙漠記念像

はじめに

1989年の最後をかざる町勢特集号を発行します。この特集号は、町政の1年間のあゆみと、新しい年の方針を統計資料とともに編集し、みなさんにお知らせするものです。

資料をよせられた関係機関の方々に厚くお礼申し上げます。

目次

◇行政報告 P 2
◇町のあゆみ・1989年町の動き 3
◇行政全般・財政 4
◇水道事業・建設 6
◇開 発 7
◇農業・漁業 8
◇観光・商工業 9
◇環境衛生 10
◇国民健康保険・保健 11
◇社会福祉・学校教育 12
◇社会教育・消防 13
◇資料編 14
◇おんじゅく暮らしのダイジェスト 32
◇おんじゅくの唄 33
◇官公署・団体施設 34

暮らしやすい

海の保養地づくりに全力投球

御宿町長 滝口 栄蔵

激動の「昭和」から「平成」(内平かに外成る「史記」、地



平かに天成る『書経』へと元号が改められた本年は、国の内外を問わず、歴史に残る大きな変革の年でありました。千葉県においては、「房総新時代」の幕開けを告げる「幕張メッセ」がオープン。さらには、国際県・千葉にふさわしい本格的なリゾート地づくりを進める「房総リゾート地域整備構想」が国へ認めを受

けるなど、県内外から大きな注目を集めました。わが町も、こうした県政の動向を見据えながら、まちづくりの柱である「自然と産業が調和したマリン・リゾート御宿」の基盤づくりに、最大限の努力を傾注しました。まず総合リゾート計画の第一歩として町民のみなさんの英知を結集した「月の沙漠記念館」は、千葉県で最初に「ふるさと創生事業」を具体化した事業として建設に着手。それと同時に建立二十年を経過し、老朽化が目立ってきた月の沙漠記念像をブロンズ製に改修することにし、資金

協力をお願いかけたところ、多くの方々のご賛同を得ることができました。また、長年の懸案となっていた布施・高山田地区の水道給水事業も、国の認可を受けて直ちに着工。町が要望する満額の補助金を確保できる見通しもつき、早期給水に向け現在、急ピッチで工事を進めています。さらに、機能的なまちづくりのため、地曳橋の拡幅や浦仲地先・海岸道路の新設をはじめ、数多くの路線整備にも着手しました。加えて、大型農道から夷隅開発C地区内道路を経て、立山、実谷を結ぶ幹線道路の新設も、既に県の路線調査が終了、実現の見通しがたちました。

このように町の基盤整備が順調に進んだことに伴い、民間活力を導入する布施・岩和田地域の開発にも弾みがつきました。今後は、地元の皆さまのご協力をいただきながら町発展にプラスとなる開発計画を進めていく考えです。次に、本年の最重要目標とした役場庁舎建設用地の取得は、地、方々の温かいご理解を賜りますようお願い申し上げます。

二十一世紀へ躍動する町・御宿―この「町勢特集号」は、町の一年間の歩みをふりかえり、新たなまちづくりの材料とすべく、統計数値とともに編集し、みなさんにお届けするものです。町の姿をご理解され、今後も一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



道路をはじめとする施設整備や心の通い合う福祉施策など、暮らしやすい海の保養地をめざします。

町のあゆみ

御宿町は大正三年に町制を施行して御宿町となりました。それ以前は、御宿村といい、明治維新より前は御宿郷といわれていました。昭和三十年三月、布施村の一部と浪花村岩和田地区と町村合併を行い、現在の

御宿町が誕生しました。

そして、海水浴を中心とした観光地として飛躍的に発展。さらには、童謡「月の沙漠」が生まれた町、史実に基づくメキシコ・アカプルコ市との姉妹都市など夢とロマンあふれる「海の保養地」として脚光を浴びています。

1989年

(昭和64年・

平成元年)

町の動き

- | | | | | | | |
|------|-------------------------|------------------------|---------------------|-------------------------|------------------------------|-------------------|
| 【一月】 | 一日 元旦歩こう会 | 【三月】 | 二八日 農業委員選挙(無投票当選) | 【七月】 | 一六日 第二回定例会 | |
| | 四日 新年祝賀式 | 八日 第一回定例会開会(一四日) | | 九日 五輪代表選手ら招き町営プール開き | | |
| | 七日 昭和天皇崩御 | 一九日 千葉県知事選挙 投票率64・50% | | 二〇日 海と山の子交流事業(二十二日) | | |
| | 八日 元号が「平成」となる。故大地薫氏町民葬。 | 二六日 観光イベント「春休みお魚ウィークス」 | | 二三日 参議院議員選挙 投票率(60・15%) | | |
| | 一五日 成人式 | 【四月】 | 一三日 町政懇談会 | 【八月】 | 三日 御宿花火大会 | |
| | 三一日 月の沙漠記念館起工式 | 二三日 公民館・スペイン語講座開講 | 二六日 布施・高山田地区水道事業起工式 | 【九月】 | 一日 防災訓練 | |
| 【二月】 | 一一日 夷隅郡一周駅伝 | 【五月】 | 三日 御宿海開き | 一五日 敬老会 | 二〇日 第三回定例会開会(二一日)議会議長に佐藤高二氏。 | |
| | 一三日 海と山の子交流事 | 【六月】 | | 二四日 御宿・国際交流フェスティバル | 【一〇月】 | 一〇日 町民体育祭・仮装行列が復活 |
| | | | | | 一一日 第二回メキシコ友好親善視察団防曇(一二日) | |
| | | | | | 二九日 御宿町磯釣大会 | |
| | | | | | 【十一月】 | 二日 文化祭(三日) |
| | | | | | 一五日 合同七つ子祝 | |
| | | | | | 【十二月】 | 三日 消費生活展 |
| | | | | | 一八日 第四回定例会 | |
| | | | | | 三一日 渚の火祭り | |

住民参加の

地域づくり



行政をこの目で — 開かれた、わかりやすい行政を実践する
(公共施設見学会)

開かれた、わかりやすい行政を信条に「産業と自然が調和した」町づくりのため職員

は、全体の奉仕者として、そこに住む人たちの幸せを願って努力をしています。

しかし、町民のみなさんからみると、まだまだ物足らなさを感じることもあると思います。

そこで、行政の原点である住民参加による住民の地域づくりを進め、住民の「声ある声」も「声なき声」にも耳を傾けながら、つぎのような施策を重点として取り組んでいます。

現在進めている

事業

一、マリナリゾート

御宿の形成

海の保養地御宿は、豊富な海の幸と恵まれた自然と美しい環境をつくり、また守ることによって街全体をリゾートタウン化していくことを目標としています。

リゾートというのは、そこに住む人々が豊かで生き生きと生活し、地域が育んできた文化や歴史を大切に、快適で安全な地域空間をつくり、外来者にもそれを提供するこ

二、役場庁舎の建設

新しいコミュニティの中心となる場の創造と時代に即応した行政事務の拠点としての庁舎を建設し、町の発展と住民福祉、行政サービスの向上に寄与しようとするものです。

三、農村地域への

上水道の給水開始

上水道第二次拡張事業として、布施・高山田地区への上水道給水のため急ピッチで工事が進められています。

これは、家用井戸の水量不足や、水質の悪化のため不便をしている地域の人たちのためとともに、残された未給水地域を解消し、行政の基本である公平な政治のための施策です。

この事業が進むことにより、近い将来リゾート開発や企業の進出、基幹産業である農業への好影響が予測されます。

四、月の沙漠記念館

町の本格的な文化施設の建設により、町民の文化活動が

一層活発になることが予想されます。

月の沙漠発祥の地御宿の位置づけを確立すると共に文化芸術の発信基地としての役割が期待されます。

五、道路整備

中央海岸から岩和田へつづく道路、海岸の自然景観を散策しながら楽しめる遊歩道。大型バスが容易に通れる橋の拡幅、歩車道の分離による安全な道。道路そのものが文化的施設となる芸術性をもった楽しい歩車道づくりに取り組んでいます。

六、地域ぐるみ福祉

ネットワークづくり

さまざまな人々の協力によって、おとしよりや恵まれな人のために、あたたかい手がさしのべられています。

ふれあい会食、男の料理教室、老人クラブによる活発な事業への参加、奉仕活動など、さわやかさと活力としいやりの福祉の輪が広がっています。

これから取り組む

課題

三カ年計画や五カ年計画のなかで取り上げる様々な施策のなかからいくつかを紹介します。

一、教育文化の向上

リゾートに欠かせないのが人づくりです。心身ともに健康で知性、情操、体力のバランスのとれた人間性豊かな児童、生徒の育成をはかり、国際社会に通用する人材の育成にも力を入れていきます。

スポーツ、レクリエーション施設も充実させ、住民はもとより、町外の人たちの利用に供する施設づくりが町の活性化につながります。

二、福祉、医療の充実

住民に密着した保健サービスを総合的に行う拠点となる保健センターを建設し、病気の早期発見、早期治療のため各種検診事業を充実させます。老人いこいの家、福祉作業

場、健康づくりセンターなどの総合施設を建設し、郷土の先輩たちの技と知恵を活用する場づくり、スポーツや語りを通じうるおいと生きがいのある老後をおくる施設づくりに取り組みます。

三、生活環境の整備

快適な生活環境づくりを進めるうえで、小型合併浄化槽や生活排水処理施設、ごみのない町づくりを進めていきます。

また、花と緑の町づくりのためにさまざまな施策を打出していきます。

四、産業の振興

米を主体とした兼業農家が多いが良質米の栽培の奨励と農地の流動化を促進していきます。

水産業については、磯根漁場の造成と資源管理型漁業を推進し、資源の確保につとめていきます。

商業については、半島振興法や地域雇用開発等促進法により、商店の改築や新規出店の動きがみられますが、リゾートにふさわしい格の高い商

店街づくりを進めていきます。

五、行政の近代化と

コミュニティづくり

新しいコミュニティの核となる役場庁舎の建設により、時代に即した行政の対応ができるよう行政の近代化をすすめます。

今後は、情報化社会に対応したコンピューターの導入をはかり、窓口事務をはじめ、住民サービスの向上をはかります。

また、防災行政無線のシステム化により、防災、行政あるいは、漁業情報などの活用をはかっていきます。

財 政

健全財政を基本に

大規模事業にも積極投資

国の経済は、依然として、個人消費、企業の設備投資を中心とする内需主導型の成長を続けており、地方財政も、この景気の拡大基調を反映して、地方税等の歳入には全体としては増収が期待できるものの、歳出面では人件費、公債費などの義務的経費の増が見込まれています。

さらに、昭和六十三年度までの暫定措置として引き下げられてきた国庫補助負担率の復元問題も国において、いまだ決着を見ておりません。

このような状況下で本町の平成二年度財政は、町税等の伸びが期待できるものの、歳出面では、義務的経費の増加に加えて、庁舎建設事業や、上水道第二次拡張工事などの大規模な事業が予定されています。

住みよい豊かな町、海の保養地御宿を実現するため、健全な財政運営を基本として、積極的な投資事業の推進を図っていきます。



町民一人ひとりの明るく健康な
くらしを支えます

水道事業

布施・高山田地区の

水道埋設工事始まる

平成元年度から平成三年度までの三か年で完成予定の布施・高山田地区水道拡張事業は、現在、急ピッチで工事が進められています。

この事業は、昨年暮れに加
入申し込みの受付を行ったと
ころ、九三パーセント強の申
し込みがありました。これを
受けて町では、本年三月に県

の認可を受け、四月以降、実
施設計や補助金申請などの事
務手続きを進めてきました。

その結果、全体事業費十億
五千七百四十万円、平成元年
度分二億九千三百六十万円の
予算をもって、十月下旬に第
一回目の工事発注を行い、現
在、実谷・七本地先の幹線道
路に水道本管を埋設していま
す。

また、二回目の工事発注で
は、上布施の石ヶ原から高山
田の西琳寺までの区間と布施
小学校周辺部を対象に工事を
進めていきます。工事期間中
ご迷惑をおかけすると思いま
すが、ご協力をお願いします。

指定工事店は17店

事業拡張で

8店を追加

町では、布施・高山田地区
拡張事業などに伴ない、本管
から各家庭の蛇口までの水道
給水工事を担当する「指定水
道工事店」を八店追加指定し、
次の十七店にお願いました。

【御宿町指定水道工事店】

- (有)岩瀬建設 68-4541
- (有)加方設備工業 68-2211
- (株)中村金物店 68-3321
- (有)大地電気商会 68-2667
- (有)アキバ 68-2157
- (有)藤江商店 68-2928
- 米本電気工事店 68-3412
- よしの住設 68-4301
- (有)桜井電気商会 68-3575
- 岡田屋 68-2754
- 吉野電設 68-5036
- 石井設備 68-2438
- 神定電機商会 68-4787
- 渡辺商店 68-2953
- 滝口設備 68-5697
- 小川プロパン 68-2333
- 小山建築工務 68-2627
- (平成元年12月1日現在)

道づくりは町づくり

積極的に道路整備

建設

町では、道づくりは町づく
りにつながるということを基
本に、道路整備を重要課題と
して取り組んでいます。

特に、深刻化する夏季の交通
混雑の緩和、総合保養地域整

備法(リゾート法)の重点整備
地域との一体性を確保するた
めにも、道路整備は急務です。

平成元年度は、町の付加価
値をもたらすために、浦仲地
先の新道に着手したのを

はじめ、地曳橋の歩道整備を
実施しました。

また、生活の多様化に伴い、
住民のみなさんから要望の多
い生活関連道路も、三か年実
施計画(昭和62〜平成元年度)
の最終年度を迎え、概ね完了
しましたが、なお、側溝の整
備や甲蓋こうがいの設置については、
引き続き整備を進めます。

河川については、護岸の未
整備区間、環境整備の促進を
図ります。



布施・高山田地区と御宿台へ給水するため、新たに
建設される第2配水池

平成二年度は 歩道や未改良道路など 積極的に整備・改良

平成二年度の重点事業は、町の幹線道路として位置づけられている浦中地先の新設道路が本年度完成するのに続いて、歩道整備を行います。また、同時に地曳橋から砂丘橋までの清水川沿いにも歩道を継続事業で新設します。

これら歩道整備は、歩行者の安全を図るとともに、快適な環境を演出するためのものです。

道路改良については、国道から岩和田海岸への交通渋滞緩和策の一つとして、岩和田地先から大原町小池地先に通じる未改良道路を継続事業で改良整備します。

このほか、各地区の皆さんから要望の多い道路改良、舗装整備についても、町の実施計画を策定し、積極的に取り組みます。

水道管理設工事が始まった布施、高山田地区につきましては、水道工事との調整を図りながら整備にあたる考えです。

次に、河川改修工事は、継続事業の裾無川について幸保池下流地点の護岸工事を行う



完成間近な浦中地先の海岸道路
引き続き歩道整備を行います。



快適な住環境を念頭においた街づくりが進む御宿台・B地区開発

とともに、月の沙漠記念館前の河川整備を実施します。

また、久保橋から戸羽目までの区間の河川整備を促進するため、まず町の管理となる準用河川に指定し、国、県の管理となる二級河川の昇格を県に要望していきます。

県の事業については、大原町山田地区のC道終点からB地区内道路に接続する道路の新設が確定。用地取得等に入ることになりました。

このほか、岩和田地先の船谷地区の急傾斜地の土砂災害防止工事も実施されます。いずれも重要な事業ですので、早期完成を図るよう積極的に県へ働きかけていきます。

開 発

保養地にふさわしい 都市機能を整備

御宿駅西側の丘陵地に建設が進められている西武グリーンタウン（B地区開発）は、宅地分譲も順調に進み、長期的な居住人口も一万人を超えるものと見込まれます。

また、今後リゾート開発を中心し、本町の開発が活発化することが予想されており、海のリゾート地にふさわしい環境、商業、文化施設などの都市機能の充実が望まれます。

当町は、昭和五十六年に国土利用計画法に基づく「都市地域」に編入されましたが、都市計画法においては、まだ未編入となっています。今後必要性が認められる都市施設整備や都市計画制限との関係からも、都市計画区域の編入及び用途地域指定などは重要な課題と位置づけています。

B地区開発以外では、上布施地区に十八ホールのゴルフ場開設が予定され、農村地域の活性化が期待されます。また、岩和田地区では、国際的にも通用する保養基地をめざして、スポーツ施設や宿泊施設などが計画されています。さらには、実谷地区でも新たな開発計画が進められています。これら開発計画と併行して、鉄道の複線化、駅舎改良による高架、橋上駅舎化の実現や駅前広場など駅周辺の開発計画推進も図る必要があります。

農 業

消費者のニーズに

あつた米づくり

米の需給均衡がとれないなかで、良質米への需要の集中、米価の据え置き等、米生産をめぐる情勢は一段と厳しさを増しており、水田農業確立対策のもとで、生産性の高い水田農業の確立が急がれています。

七六・五ヘクタールの実績となり目標を達成することができました。

今年の稲作は好天に恵まれて全国の作況指数一〇一に對し、千葉県は一〇二の豊作となりました。

このような状況の中で、転作割当については農家の理解ある協力により、目標面積六三・五ヘクタールに対して、

米の消費の良質米志向を反映して、良質米といわれるコシヒカリ、初星、はなの舞の作付が全体の九〇・八パーセントを占め、増加の傾向にあ

ります。

品質は防除の徹底もあって、当初心配されたカメムシによる斑点米も例年より非常に少なく、出荷は一等八〇パーセント、二等一七パーセントでまずまずの成績でした。

転作政策は今後まだ続きませんが平成二年度の割当は本年度と同じく二三パーセント程度になります。

畜産業においては農業公社牧場事業により畜舎整備事業も進められています。

本年度の主な事業としては向井線林道の舗装が実施されます。

漁 業

漁港整備とあわせ

磯根資源の育成

岩和田に県営の情報通信センター

平成元年度の漁港事業は岩和田漁港の船揚場及び物揚場の整備を実施しています。

御宿漁港では、漁船の道標



国や県の補助事業を導入して年々充実する漁港施設

であり漁業者の待望であった燈台が南防波堤に、海上保安部により設置されました。

また千葉県水産部により「水産情報通信センター」が岩和田地先に計画され現在着工されています。この施設は、効果的な事業を行うため、通信

業務を充実させ魚海況情報の確な提供により漁船漁業の振興を図るものです。平成四年度に開局する計画です。

平成二年度の重点事業は岩和田漁港の局部改良事業による西防波堤の改良及び停泊地の浚渫を計画しています。

磯根漁業の資源である、アワビ、サザエ、イセエビの種苗放流は継続的に実施するとともに、漁協青年部による、培養、管理の研究・研修に協力し、水産資源の確保、造成を推進します。



米消費拡大を推進するため栄養改善会も一役

光 観

“海浜スポーツリゾート” で地域の活性化進む

観光地からリゾート地へと地域の活性化が進んでおります。

リゾート法の施行により、当町も重点整備地域の指定を受けて、御宿・岬・大原地区「海浜スポーツ・リゾート」



建設の進む月の沙漠記念館(完成予想図)

の地域整備基本構想が設定されました。

南総におけるスポーツメッカの形成を目指して、既存スポーツ施設の集積を活かし、多種多様なスポーツ施設の充実に、ゴルフ、テニス、乗馬、ゲートボール、ヨット、サーフィン、ウインドサーフィン、ビーチバレーなど豊富な活動を備えたスポーツリゾートの形成を図ってゆきます。

環境整備

リゾート地としての第一条件は「美しい街」であることです。

美しい街、きれいな街に住む人は勿論のこと訪れる人々たちにも好感を与えます。

環境整備事業としては、海岸遊歩道の建設、照明、ベンチ、植栽、フラワーポットなどの設置を行っております。

環境美化の一環としては、サイン(標識)の統一を考えております。

また、月の沙漠記念館の完成や月の沙漠記念像の再建に

商工業

変化する消費者志向 商店の新改築も進む

商業

夷隅開発B地区の開発やリゾート法の施行により、リゾート観光都市づくりが進められております。

町商店街も店舗の新築、改築等が行われ近代的な商店街づくりが推進されています。

だが、小売店の推移を見ますと、店数、従業員数、販売額等はやや減少の傾向にあります。

当町の場合は、商圏が狭く消費人口が少ないのに、他市

より、新しい観光名所として広くPRして、観光資源として活用してゆきます。

モデル海水浴場

「青い海と白い砂浜」これは町の宝です。

この美しい自然を求めて、夏になると一〇〇万人を超え

る観光客が訪れます。

町では、観光客が安全で快適な海水浴ができるように、施設の充実、安全体制の確立、サービスの徹底、海岸の美化などにより一層の努力を重ねるリゾート御宿の核となるグレイドの高いモデル海水浴場の設置を目指しております。

工業

リゾート開発と共に生活環境も多様に変化していきます。的確な商店経営が求められます。

町村に流出する消費者が多く見られます。消費者の志向を見ますと、ショッピングの楽しさ、遊び、ゆとりなどショッピングレジャー化が進んでいます。商店の大型化に伴い中小小売店の経営はむずかしくなっています。

こうしたなかでの商店振興対策とし次のような事が行われています。

- 一、商店街のレベルアップとして近代的な核をつくる。
- 二、人の集まる施設をつくる。
- 三、都会的な要素を持つ。

昭和六二年の工業統計によると、従業員四人以上の工場数は三八。従業員数は三六二人。製品出荷額は一六七三百万円です。これを前年調査と比較すると、工場数で三減。従業員数で五六人減。製品出荷で二八五百万円減とそれぞれ減少しています。

当町も数年人口の流出が続いています。若者の定住や就労を図るためにも優良企業の誘致が望まれます。

広がる

“きれいな意識”

今年も「きれいな街づくり」に積極的な施策を展開してきましたが、主要事業については、単純にふりかえてみたいと思います。

まずゴミ処理については、

粗大ゴミの回収です。排出量は、予想をはるかに上回るものでしたが、町民の皆さんをはじめ、関係各位の多くのご協力でスムーズにできました。そして、老人クラブ連合会

や商工会青年部を中心とした花いっぱい運動。浜地区生活排水処理施設の建設にみる水環境の改善。各区ごとに実施し、昨年の四倍の参加者を見た公共施設見学会——これらすべての施策を通し、町民のみなさんが「わたしの街づくり」に参加し、行政への関心が高まるなかで、「きれいな意識」は確実に、広がりをを見せてきました。

問題については、いままでも諸施策を実施してきましたが、抜本的解決にいたっていません。街なかや、身のまわりなど日常の環境については、町民のみなさんのご協力で、だいぶ良くなってきましたが、「夏のゴミ問題」の解決は、リゾートをめざす我が町にとって悲願であり、達成しなければならぬ大きな課題です。多方面、多角度から鋭意検討していく考えです。

併せて検討していきます。花いっぱい運動は、各関係団体の協力により、その輪をより大きく広げ「花と緑の街づくり推進会議」を設置し、運動を進めていきたいと思えます。

また、総合的研究課題として、清水川周辺に関する「ウォーターフロント計画構想」をより確かなものにしていきたいと考えます。

夏のゴミ対策の 充実や小型合併 浄化槽普及など

平成二年度目標

環境衛生課の誕生以来、環境行政につきましては、①じん芥処理対策②水をきれいにする運動③花いっぱい運動の三つの柱で事業を展開してきました。

平成二年度は、これらの諸施策の一つひとつ焦点をしっかりと同時に、複合的に検討していきたいと思えます。

第一に、じん芥処理については「夏のゴミ」です。この

好評の粗大ゴミ収集については、引き続き実施し、公共施設見学会については、見学場所を増やし、定期的に開催したいと考えます。

水環境の改善につきましては、

「水をきれいにするには、まず各家庭から」ということで、小型合併処理浄化槽の補助制度の導入を予定しています。この合併処理浄化槽は、し尿だけでなく、台所や風呂の水も同時に処理するもので、汚染防止に大いに役立ちます。

補助制度の詳細につきましては、実施時期にお知らせします。このほか、小河川流末へ生活排水処理施設の設備も

住みよい環境づくりへ

条例なども整備

近年、環境への気運が非常に高まりをみせていますが、環境に関する条例整備も、一つの重要事項であると考えます。

一日一日、一步一步、環境をデザインし、より住みよい、より素晴らしいふるさとを築いていきたいと思えます。みなさんの英知をお寄せください。



子供達も学びます「きれいな街づくり」

年々上昇する医療費

わが国の医療水準は、世界的にみて、かなり高く欧米諸国と肩を並べています。近年の著しい医学、医療技術の進歩により、診療、治療技術は一段と高まり、難治疾患にも明るい見通しが、次々と報じられています。

しかし、人口の高齢化や社会環境の変化に伴い、がん、高血圧、心臓病といった「成人病」の増加が目立ってきたことも見逃せません。こうした疾病構造の変化に伴い、医療費は年々上昇の一途をたどっており、御宿町の

最近五年間の医療費動向【第一表】は、一人当りで約二五%、一件当りで約一九%の増となっています。また、国民健康保険の加入状況を年齢別にみますと、約六七%が成人病該当年齢の四十歳以上で、特に六十歳代が全体の約二一%を占めています。今後も高齢化社会の進展とともに、医療費はますます上昇することが予想されます。「自分の健康は自分で守る」をモットーに、町で実施して

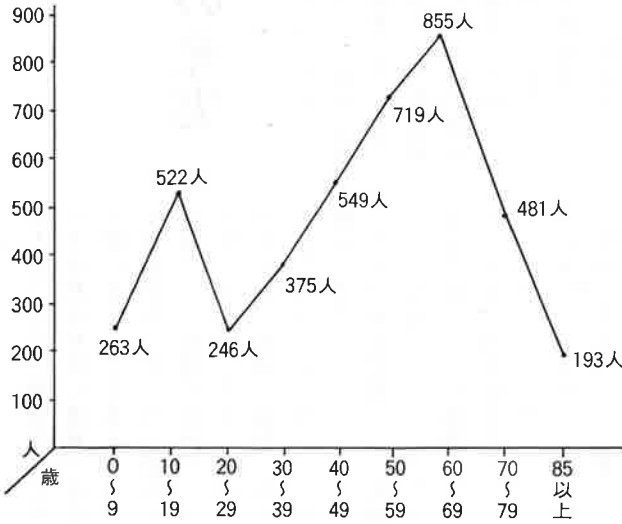
いる各種検診を積極的にご利用いただき、病気の早期発見早期治療に努め、医療費の抑制と保険税負担を図りたいものです。
「健康」それは永遠の願い、明日への力。



【第1表】医療費動向（一般・退職） (単位 円)

年度		59	61	63
一人当り	町	92,375	103,357	115,602
	郡平均	85,942	104,891	117,395
	県平均	76,349	92,288	104,328
一件当り	町	14,332	15,255	17,050
	郡平均	15,509	17,557	18,698
	県平均	13,377	15,106	15,860

国民健康保険加入者年齢階層状況 (平成元年9月末現在)



保 健

早期発見・早期治療で 健康生活

「成人病」という名前を聞いたことがあると思います。成人病とは一つの病気の名前でなく、がん・心臓病・脳卒中・肝臓病・腎臓病・高血圧・糖尿病等をまとめて成人病といいます。「具合が悪くて医者にかかっ

町では皆さんの健康づくりのお手伝いとして健康相談や各種成人病診断を無料で実施していますので、自分自身の健康管理のため積極的に利用し、健康で明るい毎日をお送りください。

御宿町でもこれらの成人病で亡くなる方が全死亡者の78% (63年度) にものぼっています。断は有効です。

ているわけではないので健康だ」と思っている人も多いと思いますが、これらの病気は似た特徴があり、病気の初期には自覚症状がなく、症状が出て発見された時にはすでに手遅れになったり、複数の病気を伴って発病することもあります。自覚症状のないうちに病気を発見することが最も重要ですが、良い生活習慣を身につけたり、病気でないことを確認する意味からも健康診断は有効です。

官民協働で

在宅福祉の充実

近年、人口の高齢化が急速に進み、二十一世紀前半には本格的な高齢化社会を迎えると言われています。

社会福祉の分野でも二十一

世紀を展望した「人生八十年型社会」に向けた、福祉行政を進めていく必要があります。制度面においても、児童福祉法をはじめとした社会福祉



他市町村に先がけて導入された緊急通報電話

制度の骨格をなす、さまざまな法律体系のもとで、関係公共団体、民間団体などが一体となって取り組んできましたが、高齢化や核家族化、さらには扶養意識の変化など、社会状況の変化に伴い、各種制度の抜本的な改革が行われ、今後の福祉制度の方向性が問われています。

特に、今後の社会福祉活動を

考えるうえで、地域社会の果たす役割は非常に重要であると思います。お年寄りや体の不自由な方々が、住み慣れた地域で、ご家族や近隣の人々と共に生きがいをもって暮らせるよう、地域の連帯に支えられた、住みよい街づくりを推進します。

町社会福祉協議会と「地域ぐるみ福祉ネットワーク」の充実を図り、公私協働しながら、なお一層多様化するニーズに対処していく考えです。

具体的な事業内容では、他市町村に先がけ、一人暮らしのお年寄りが安心して生活できる緊急通報システムの設置をはじめ、ふれあい会食の開催。健康の増進や交流の場と

学校教育

教育現場や父母の声を

反映した施策推進

御宿町の学校教育は、夷隅郡五町による夷隅郡教育委員会と共同で町の特性をいかした人間性豊かな児童、生徒の育成につとめています。

平成元年度は、各種教育機器、備品の整備をはじめ、教育施設の改善を図りました。特に、前年度に引き続き、御宿小学校体育館のアスベス

してのゲートボール場の整備。さらには、体の不自由な方々のための「福祉カー」の購入

などを実施しました。これからも、心のかような福祉活動を進めてまいります。



御宿小学校ランチルーム—給食もよりいっそう楽しく

ト除去工事を二千四百万円を投じて実施したほか、楽しい給食の為にランチルームの設置。また、岩和田小学校校舎のサッシ改修工事、グラウンド周囲のブロック積などの教育環境の整備に取り組みしました。今後も教育現場や父母などの声を反映した教育施策を展開していきます。

社会教育

豊かな心楽しい人生を

過ごす学習機会の拡大

公民館では今年度、三十二の教室、クラブ等を開いています。特に国際理解、国際交流時代に対応してスペイン語教室を開設したところ、大変好評をえています。

公民館の利用者に高齢者が多いと言われていますが、最近幅広い年齢層の参加が見られるようになりました。

これからは社会状況の変化とともに、町民のみさんの学習意欲は高まり、質的にも高度なものが求められて行くもの



と思います。公民館は生涯教育の拠点として学習活動の充実に努め町民の求める講座、教室を体系化して開講するようにはします。

平成二年度は、次のような目標を掲げ、人と人とのふれ

消 防

住民生活の安全を守る消防団

広域消防設置後も大きな期待

本町の消防団は、一本部、八

分団、二百六十五名の消防団員で構成され、住民生活の安全を守るため、月二回の試運転や各種訓練、海岸警備、歳末夜警、花火大会警備など日夜尽力しています。町民の皆さんの御

協力もあり、平成元年十一月末現在で二年八ヶ月間の無火災記録を更新しています。

また、平成二年度より夷隅

あいのある公民館活動を通じて、それぞれの立場で社会参加ができるようにしたいと思います。

○自然とのふれあい、仲間との切磋琢磨、老若の交流、よりよき家庭人の育成に努める

○スポーツ、レクリエーション活動を促進し、住民の体力向上に努める。

○住民が気安く利用し、ふれあいを深めるために、施設、整備の充実と環境の整備改善につとめる。

郡市広域常備消防が発足しま

すが、地域防災の要として消防団に対する期待は大きく、今後も、消防施設の整備充実を進めていきます。

消火栓

平成元年十二月現在の消火栓の設置場所は下表のとおりです。日頃から、自宅近くの消火栓の場所を知っておくことも大切です。

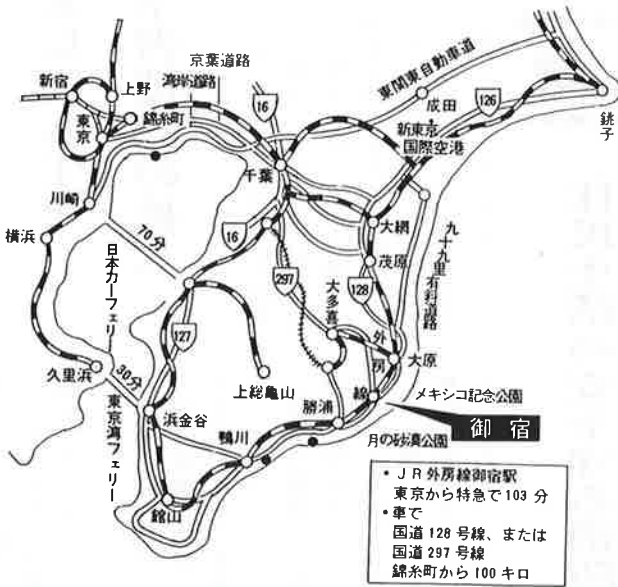
消 火 栓 の 設 置 場 所

平成元年12月 現在

番号	消火せん所在地	地区	番号	消火せん所在地	地区	番号	消火せん所在地	地区
41	板垣健治	六軒町	21	大地上	巨之	1	元式湯	泉
42	鷹中	六軒町	22	井上	久保	2	田田	浜
43	長中	六軒町	23	天津千	久保	3	谷福	浜
44	立石金	六軒町	24	白鳥由	久保	4	米本良	所
45	柳健吉	六軒町	25	御宿中	久保	5	春日莊	内
46	幸保	六軒町	26	南宿中	久保	6	はま	所
47	清水	六軒町	27	オタフク	久保	7	渡辺	店
48	小川	岩和田	28	遠藤智	久保	8	渡辺	一
49	大野	岩和田	29	町営	久保	9	渡辺	台
50	水野	岩和田	30	秋葉	新	10	渡辺	郎
51	水野	岩和田	31	滝口	新	11	伊藤	実
52	水原	岩和田	32	伊藤	新	12	本吉	助
53	専修大七	岩和田	33	鈴木	新	13	佐伯	勇
54	木原政	岩和田	34	大天竹	新	14	渡辺	進
55	江沢政	岩和田	35	の守熊	新	15	須賀	男
56	畑中	岩和田	36	鶴岡	新	16	滝口	角
57	嶋村	岩和田	37	松岡	新	17	日高	郎
58	藤井	岩和田	38	水谷	新	18	中央海	所
59	埋田勝	岩和田	39	鈴木	新	19	三上	須
			40	新井	新	20	君塚	賀

数字でみる おんじゅくのすがた

資料編

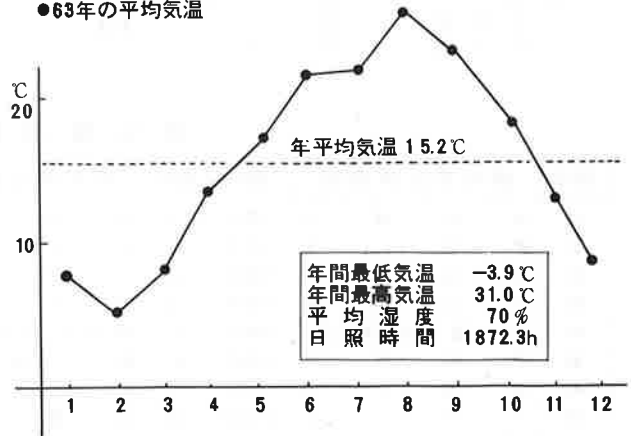


- 沿革……明治22年町村制の施行により、御宿郷の須賀村、浜村、高山田村、久保村の4部落がまとまり、御宿村ができた。
その後、大正3年御宿町と改称。昭和30年町村合併で布施村の一部と浪花村岩和田地区を合併して現在の御宿町となった。
- 位置……御宿町は千葉県東南部、房総半島中央部東端に位置し、首都東京から75kmの南東方向。
東経140度21分23秒。北緯35度11分2秒の地点にある。
- 面積……25.05 km²

● 年別気温・降雨量

年	平均	最高	最低	降雨量
30	16.6℃	34.1℃	-4.4℃	2220.3mm
40	14.9	31.6	-4.8	1639.5
50	15.0	31.2	-2.4	1969.0
60	15.3	31.3	-3.2	1799.0
61	14.8	32.8	-3.2	1966.0
62	15.6	30.9	-3.6	1873.5
63	15.2	31.0	-3.9	2203.5

● 63年の平均気温



● 63年の月別気温・降雨量

区分 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
平均気温	8.4	5.1	8.9	13.8	17.1	21.0	21.5	25.7	22.9	17.4	12.2	8.6℃
最高	18.9	17.7	19.9	21.6	24.3	29.1	28.9	31.0	30.5	24.0	21.9	17.0℃
最低	0.4	-3.9	0.6	2.8	6.5	14.6	17.3	19.7	17.8	6.7	2.3	0.0℃
降雨量	47.0	23.0	210.5	159.5	188.0	297.5	143.5	298.0	484.0	281.0	59.0	14.5mm

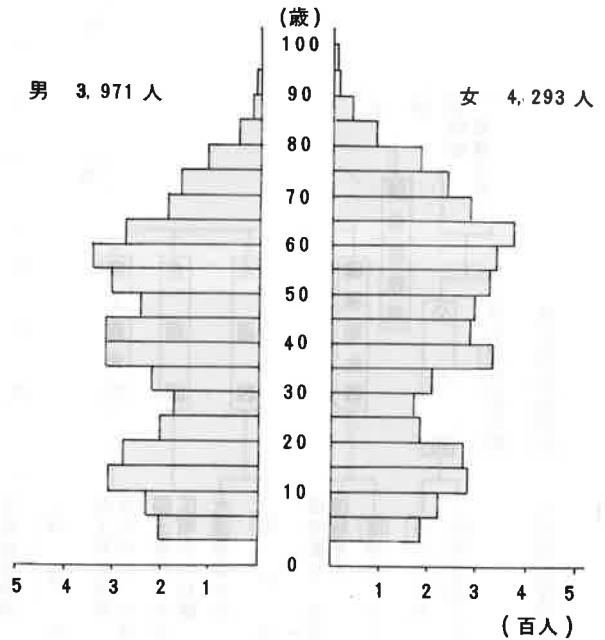
●行政区別世帯数と人口

(元. 10. 1)

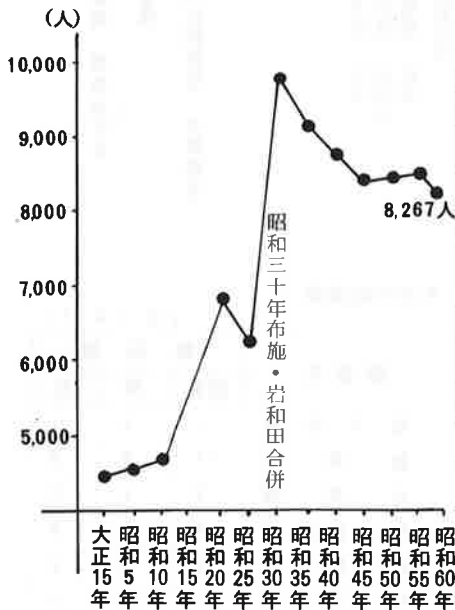
区 分	世帯数	人 口		
		男	女	計
須 賀	328	455	492	947
浜	259	407	463	870
高 山 田	83	151	160	311
久 保	368	566	624	1,190
新 町	451	624	706	1,330
六 軒 町	237	350	370	720
岩 和 田	456	762	801	1,563
実谷・七本	129	246	262	508
上 布 施	208	388	388	776
御 宿 台	15	15	15	30
合 計	2,534	3,964	4,281	8,245

(単位：人)

●5歳階級別人口（平成元年4月1日現在）



●人口の動き（国勢調査）



●人口の推移（国勢調査）

年 次	世帯数	人 口			1世帯平均人員	人口密度 人/k㎡	面 積 k㎡
		総 数	男	女			
大正 15	982	4,408	2,122	2,286	4.5	448	9.85
昭和 5	1,022	4,611	2,153	2,458	4.5	468	〃
10	1,016	4,798	2,197	2,601	4.7	487	〃
20	1,196	6,829	3,197	3,632	5.7	693	〃
25	1,307	6,195	2,816	3,379	4.7	629	〃
30	2,022	9,753	4,519	5,234	4.8	389	25.04
35	2,047	9,273	4,313	4,960	4.5	370	〃
40	2,068	8,815	4,053	4,762	4.3	352	〃
45	2,136	8,475	3,853	4,617	4.0	338	〃
50	2,263	8,484	3,960	4,524	3.7	339	25.05
55	2,432	8,486	4,027	4,459	3.4	339	〃
60	2,452	8,267	3,948	4,319	3.4	330	〃

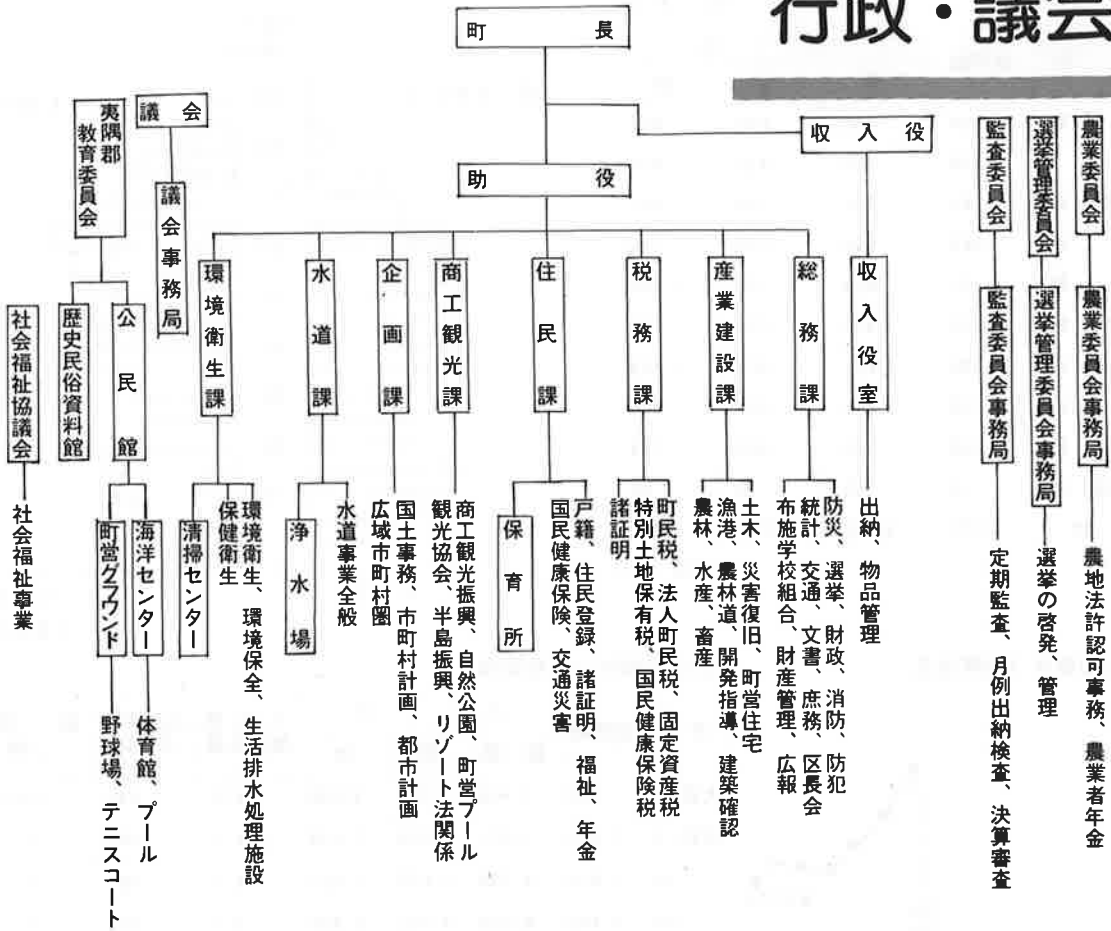
●人口動態

年 度	自 然 動 態						社 会 動 態		
	出生	死亡	自然増減 出生・死亡	死産	婚姻	離婚	転入	転出	社会増減
昭和 30	184	74	110	19	68	9	484	784	△ 300
40	132	91	41	19	254	9	221	353	△ 132
50	114	94	20	9	208	13	322	379	△ 57
60	76	88	△ 12	4	45	8	319	351	△ 32
63	70	93	△ 23	2	33	5	276	305	△ 29

自 然
人 口

● 行政組織の状況

行政・議会



● 議 会

- 議員定数 16人 (法定数22人)
- 常任委員会数 3
 - 総務常任委員会 (6)
 - 産業建設常任委員会 (5)
 - 教育民生常任委員会 (5) ()内委員数

● 議会の開催状況

区分 年次	定 例 会				臨 時 会				請願 陳情 件数
	回数	会期	町長提出 議案	議員提出 議案	回数	会期	町長提出 議案	議員提出 議案	
58	4	11	46	5	3	3	5	1	5
59	4	11	46	5	3	3	5	1	5
60	4	12	40	6	4	4	2	2	3
61	4	10	46	6	2	2	4	1	3
62	4	14	35	12	4	4	9	7	6
63	4	10	49	6	2	2	4	0	4

● 課別職員数

(元 10.1)

課室名	職 員 数		
	総数	男	女
収入役室	2	1	1
総務課	11	8	3
企画課	2	2	0
産業建設課	8	8	0
住民課	9	5	4
税務課	7	5	2
商工観光課	4	4	0
水道課	6	5	1
環境衛生課	13	11	2
農業委員会	1	1	0
議会事務局	2	2	0
公民館	5	4	1
保育所	19	0	19
社会福祉協議会	1	1	0
合 計	90	57	33

●投票区別有権者数

(元年9月現在)

区分	投票区域	計	男	女
第1投票区	久保・新町・六軒町	2,471	1,140	1,331
第2投票区	須賀・浜・高山田・御宿台	1,691	792	899
第3投票区	岩和田	1,230	582	648
第4投票区	上布施	586	274	312
第5投票区	実谷・七本	399	193	206
総数		6,377	2,981	3,396

●歴代町長

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
(町長職務執行者)	大地重直	昭和30.3.31	昭和30.5.15
1	井上文吉	// 30.5.16	// 42.5.14
2	岩井敏夫	// 42.5.15	// 54.5.14
3	高梨秀治	// 54.5.15	// 62.5.14
4	滝口栄蔵	// 62.5.15	在任中

●歴代議長(町村合併後)

氏名	就任年月日	退任年月日
吉野要	昭和30.3.31	昭和32.9.30
浅野航海	// 32.10.1	// 34.9.30
新井清治	// 34.10.1	// 40.9.30
関龍雄	// 40.10.1	// 44.9.30
中村喜一	// 44.10.11	// 48.10.31
江沢富士松	// 48.12.4	// 50.9.30
岩崎栄一郎	// 50.10.1	// 54.9.30
石田行雄	// 54.10.1	// 56.9.30
井上泰爾	// 56.10.1	// 58.9.30
井上浩一	// 58.10.1	// 60.3.12
白鳥時雄	// 60.4.16	// 62.9.30
関野正治	// 62.10.1	平成元.9.21
佐藤高二	平成元.9.21	在任中

●歴代助役

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	相原誠三郎	昭和30.10.18	昭和38.10.17
2	岩井敏夫	// 39.1.10	// 42.4.17
3	佐藤清司	// 42.12.20	// 45.10.31
4	浅野興典	// 47.4.1	// 54.5.14
5	池田覚道	// 55.3.1	// 62.5.14
6	大谷良司	// 62.6.15	在任中

●歴代収入役

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	相原誠三郎	昭和29.2.13	昭和30.10.17
2	佐藤清司	// 30.10.18	// 42.12.19
3	浅野興典	// 42.12.20	// 47.3.31
4	和田正美	// 47.4.1	// 54.5.14
5	岩瀬剛	// 54.7.1	// 62.5.14
6	吉田庸二	// 62.6.15	在任中

●最近の選挙における投票状況

選挙名	施行年月日	当日有権者数			投票者数			投票率(%)		
		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
県知事選挙	S60.3.24	6,222	2,914	3,308	2,769	1,287	1,475	44.39	44.17	44.59
衆議院議員 "	S61.7.6	6,374	3,001	3,373	4,899	2,240	2,659	76.86	74.64	78.83
参議院議員 "	S61.7.6	6,374	3,001	3,373	4,849	2,222	2,627	76.07	74.04	77.88
県議会議員 "	S62.4.12	6,343	2,970	3,373	3,692	1,683	2,009	58.21	56.67	59.56
町長 "	S62.4.26	6,359	2,981	3,378	6,019	2,790	3,229	94.65	93.59	95.59
町議会議員 "	S62.9.20	6,398	3,011	3,387	6,004	2,789	3,215	93.84	92.63	94.92
県知事 "	H元.3.19	6,318	2,960	3,358	4,075	1,853	2,222	64.50	62.60	66.17
参議院議員 "	H元.7.23	6,382	2,982	3,400	3,839	1,810	2,029	60.15	60.70	59.68

財 政

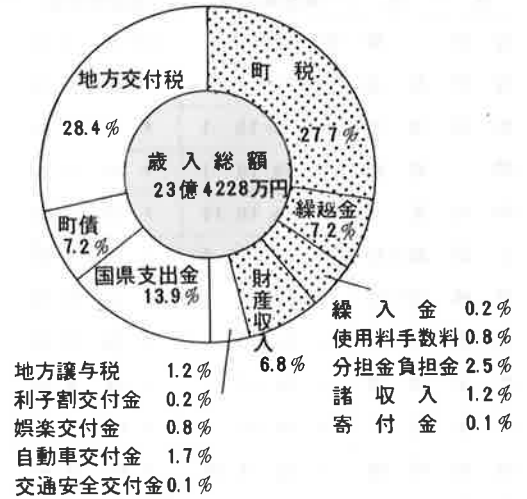
●昭和63年度一般会計歳入歳出決算

歳 入 (単位 千円)

科 目	年 度		比 較		前年度 増減率 %
	63年度 決算額①	62年度 決算額②	①-②③	③/②	
1.町 税	649,178	642,623	6,555	1.0	3.3
2.地方譲与税	27,316	28,689	△1,373	△4.8	4.6
3.利子割交付金	3,585		3,585		
4.娯楽交付金	19,658	19,470	188	1.0	5.0
5.自動車交付金	38,748	32,381	6,367	19.7	24.1
6.地方交付税	666,283	534,717	131,566	24.6	3.1
内 普 通	599,834	474,269	125,565	26.5	2.4
訳 特 別	66,449	60,448	6,001	9.9	8.9
7.交通安全交付金	1,870	2,273	△403	△17.7	92.5
8.分担金・負担金	58,385	53,136	5,249	9.9	△52.5
9.使用料	7,508	7,772	△264	3.4	△4.2
10.手数料	11,248	9,692	1,556	16.1	2.7
11.国庫支出金	129,781	126,526	3,255	2.6	22.2
12.県支出金	196,792	149,387	47,405	31.7	5.2
13.財産収入	160,127	97,113	63,014	64.9	30.3
14.寄付金	1,842		1,842		
15.繰入金	4,175	10,379	△6,204	△59.8	△76.2
16.繰越金	168,468	127,624	40,844	32.0	△15.9
17.諸収入	27,716	62,990	△35,274	△56.0	23.3
18.町 債	169,600	112,100	57,500	51.3	50.3
合 計	2,342,280	2,016,872	325,408	16.1	1.6







●昭和63年度一般会計歳入決算財源別構成比

53.5% 依存財源 □ 自主財源 46.5%



●63年度住民負担の状況

町民1人当たり・円

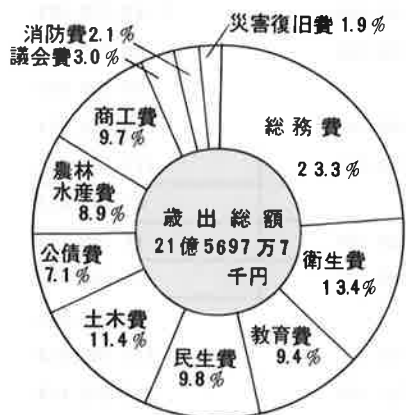
町 民 税 	31,657円	たばこ消費税 	5,567円
固定資産税 	36,298円	電 気 	3,271円
軽自動車税 	695円	入 湯 税 	37円
特別土地保有税	1,030円		

(滞納繰越金、国などから交付される固定資産税を除く)

●町税負担状況の推移

年度	区分	町税総額 千円	一世帯当 り負担額 円	一人当 り負担額 円
30		13,618	6,753	1,396
35		15,166	7,408	1,635
40		27,435	13,266	3,112
45		57,725	26,962	6,892
50		187,905	83,886	21,920
55		398,434	165,218	45,823
60		613,882	246,242	72,537
63		649,178	257,815	78,555

●昭和63年度一般会計目的別歳出決算構占比



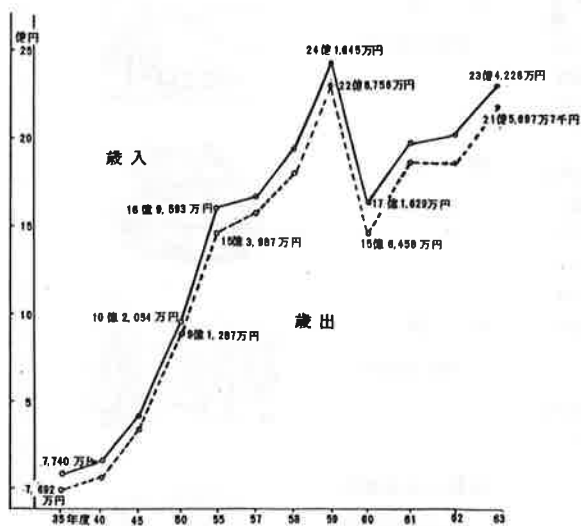
●昭和63年度一般会計決算

(目的別歳出)

(単位 千円)

科目	年度		比較	
	63年度 決算額①	62年度 決算額②	①-②③	③/②
1. 議会費	64,527	62,958	1,569	2.5
2. 総務費	503,268	422,083	81,185	19.2
3. 民生費	211,476	190,762	20,714	10.9
4. 衛生費	289,577	372,825	△ 83,248	△22.3
5. 農林水産業費	191,422	107,063	84,359	78.8
6. 商工費	208,335	95,832	112,503	117.4
7. 土木費	245,431	181,327	64,104	35.4
8. 消防費	44,547	44,892	△ 345	△ 0.8
9. 教育費	203,214	210,715	△ 7,501	△ 3.6
10. 災害復旧費	42,243	25,001	17,242	69.0
11. 公債費	152,937	134,945	17,992	13.3
合計	2,156,977	1,848,403	308,574	△16.7

●一般会計決算額の推移



(性質別歳出)

(単位 千円)

区分	年度		比較	
	63年度 決算額①	62年度 決算額②	①-②③	③/②
1. 消費的経費	1,160,337	1,080,504	79,833	7.4
(1)人件費	530,716	516,464	14,252	2.8
(2)物件費	272,945	237,944	35,001	14.7
(3)維持補修費	5,000	2,499	2,501	100.1
(4)扶助費	9,997	12,313	△ 2,316	△18.8
(5)補助費等	259,197	239,026	20,171	8.4
(6)その他(積立金等)	82,482	72,258	10,224	14.1
2. 投資的経費	793,813	586,905	206,908	35.3
(1)普通建設事業	751,570	561,904	189,666	33.8
(2)災害復旧事業	42,243	25,001	17,242	69.0
3. 公債費	152,820	134,878	17,942	13.3
4. 繰出金	50,007	46,116	3,891	8.4
合計	2,156,977	1,848,403	308,574	16.7

●財政の変遷〔普通会計〕

(千円)

年度	当初予算額	決算			基準財政 需要額	基準財政 収入額	地方 交付税額	財政力 指数
		歳入	歳出	差引残高				
57	1,447,456	1,774,402	1,696,538	77,864	812,529	393,986	477,672	0.476
58	1,563,647	2,017,822	1,905,899	111,923	831,696	420,031	465,848	0.487
59	2,450,909	2,436,408	2,300,864	135,544	894,053	441,501	500,694	0.491
60	1,344,447	1,736,930	1,579,733	157,197	954,976	523,785	484,363	0.512
61	1,632,489	2,003,240	1,870,721	132,519	981,921	517,409	518,741	0.523
62	1,658,484	2,016,872	1,848,403	168,469	1,009,665	535,396	534,717	0.535
63	1,936,740	2,342,280	2,156,977	185,303	1,140,993	541,159	666,283	0.510

● 昭和63年度会計別決算

(円)

会計別	区分	予算額	決算額
一般会計	歳入	1,936,740,000	2,342,279,485
	歳出	1,936,740,000	2,156,977,116
	差引残額		185,302,369
国民健康保険特別会計	歳入	489,798,000	538,853,272
	歳出	489,798,000	477,388,319
	差引残額		61,464,953
プール特別会計	歳入	15,536,000	16,106,159
	歳出	15,536,000	13,650,526
	差引残額		2,455,633
老人保健特別会計	歳入	435,727,000	419,585,016
	歳出	435,727,000	410,512,116
	差引残額		9,072,900
総合計	歳入	2,877,801,000	3,316,823,932
	歳出	2,877,801,000	3,058,528,077
	差引残額		258,295,855

● 水道事業会計決算 - 昭和63年度 -

● 収益の収入及び支出 (収入)

(円)

区分	予算額	決算額	予算額に対する増減
水道事業収益	162,166,000	166,538,700	4,372,700
営業収益	103,099,000	108,151,625	5,052,625
営業外収益	59,067,000	58,387,075	△ 679,925

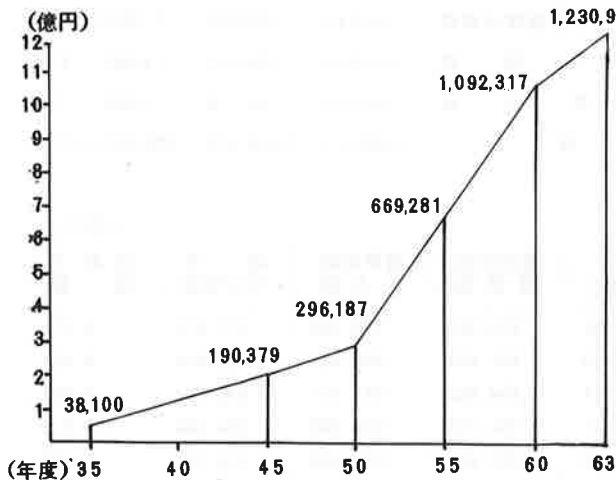
(支出)

(円)

区分	予算額	決算額	不用額
水道事業費用	148,095,000	146,208,728	1,886,272
営業費用	125,275,000	123,588,786	1,686,214
営業外費用	22,620,000	22,619,942	58
予備費	200,000	0	200,000

● 町の借金 (地方債の推移)

(千円)



● 町有財産

平成元年3月31日現在

土地 659,556 m ²	
建物 26,250 m ²	
山林 305,525 m ²	
出資による権利 9,254,000 円	
土地開発基金 不動産 902 m ² 預金 15,320,000 円 預託金 8,000,000 円	
財政調整基金 1,280,552,840 円	

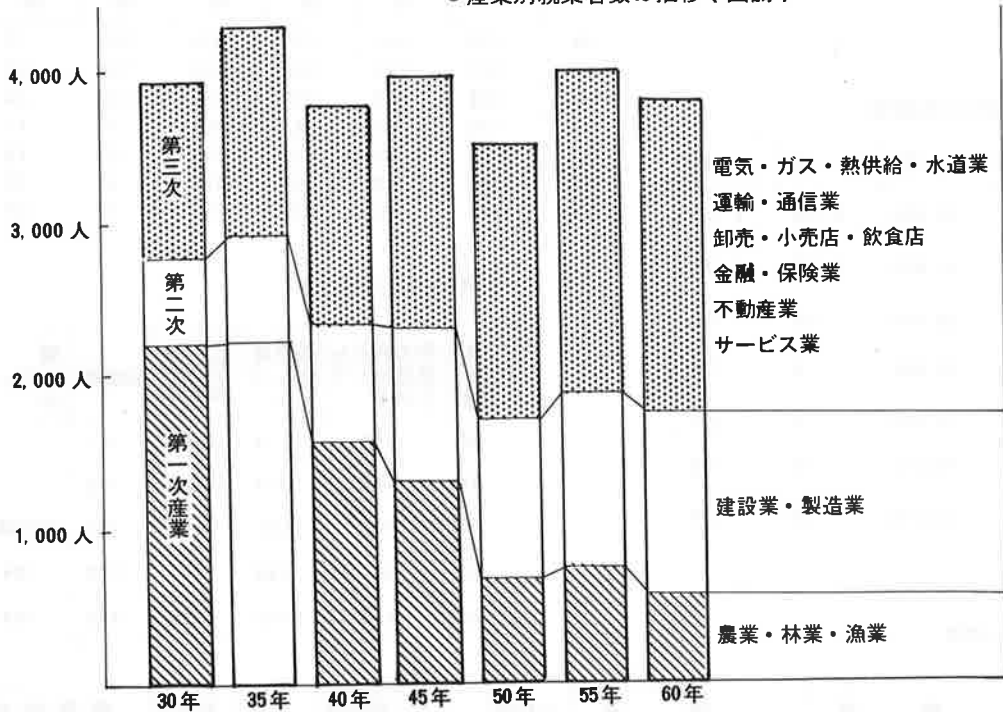
産 業

●産業別就業者数

(国勢調査より)

区分	種別	30年		35年		40年		45年		50年		55年		60年	
		就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%
第1次産業	農業、林業、狩猟業 漁業、水産、養殖業	2,223	56.3	2,231	51.9	1,579	42.0	1,302	32.6	687	19.4	703	17.8	552	14.4
第2次産業	鉱業、建設業、 製造業	571	14.5	703	16.4	764	20.3	1,007	25.2	1,039	29.4	1,156	29.3	1,187	31.1
第3次産業	卸小売業、金融 保険業、その他	1,156	29.2	1,363	31.7	1,415	37.7	1,686	42.2	1,813	51.2	2,085	52.9	2,081	54.5
計		3,950	100.0	4,297	100.0	3,758	100.0	3,995	100.0	3,539	100.0	3,944	100.0	3,820	100.0

●産業別就業者数の推移(国調)



●所得者別総所得金額

(単位：千円)

所得者区分	年次	58	59	60	61	62	63
給与所得者		4,449,951	4,632,720	4,073,028	4,793,182	5,094,797	5,337,279
営業所得者		356,436	383,393	426,386	430,168	455,082	538,050
農業所得者		8,370	6,321	25,662	11,678	19,831	17,643
その他事業所得者		418,184	389,608	486,756	408,416	411,069	392,631
その他の所得者		54,390	68,924	67,548	64,060	78,130	77,541
譲渡所得者		138,732	286,317	1,042,415	615,078	211,675	284,253
計		5,152,341	5,767,283	6,751,795	6,322,582	6,270,584	6,647,397

農 業

●農家数の動き

年 度	総 数	専 業	第1種兼業	第2種兼業
35	745	135	284	326
40	681	49	278	354
45	608	34	198	376
50	470	24	144	302
55	430	23	120	287
60	387	31	25	331
63	373	35	26	312

●経営規模別農家数の動き

年 度	総 数	10~ 30 (a)	30~ 50 (a)	50~ 100 (a)	100~ 150 (a)	150 以上 (a)	例 外 規 定
35	745	221	123	215	157	17	12
40	681	192	106	199	154	23	7
45	608	155	104	187	132	30	—
50	470	96	83	206	71	11	3
55	430	89	81	185	59	13	3
60	387	65	66	183	50	21	2
63	373	62	73	152	59	25	2

●主要作物収穫面積

年 次	水 稻	麦 類	甘 藷
35	33,850	6,230	2,780
40	32,835	2,438	1,629
45	28,108	749	710
50	22,549	4	273
55	19,930	0	251
60	19,357	16	180
63	18,315	19	210

●農業機械所有台数

年 度	動力耕うん 機農用トラ クター	自脱型 コンバ イン	米麦用 乾燥機	田植機	軽 トラッ ク	普通 トラッ ク
50	398	3	305	141	62年度より調査	
55	478	113	322	210		
60	501	164	311	254		
62	540	186	293	255		
63	512	192	281	252	129	27

●農家の推移

年 度	農家 数 (戸)	増 減		農家 人口 (人)	増 減		一戸当 たり農 家人口 (人)	町 総 世帯数 (戸)	町総世 帯数に 対する 農家率 (%)	町 総 人 口 (人)	町総人 口に対 する農 家人口 率(%)	経 営 耕 地 面 積			
		数 (戸)	率 (%)		数 (人)	率 (%)						総面 積 (ha)	田 (ha)	畑 (ha)	そ 他 (ha)
35	745	—	—	4,019	—	—	5.4	2,047	36.4	9,273	43.3	467	359	107	1
40	681	△ 64	△ 8.6	3,459	△ 560	△ 13.9	5.1	2,067	32.9	8,815	39.2	449	355	91	3
45	608	△ 73	△ 10.7	2,882	△ 577	△ 16.7	4.7	2,136	28.5	8,475	34.0	418	341	70	7
50	470	△ 138	△ 22.7	2,204	△ 678	△ 23.5	4.7	2,263	20.8	8,484	26.0	300	247	46	7
55	430	△ 40	△ 8.5	1,941	△ 263	△ 11.9	4.5	2,432	17.7	8,486	22.9	290	234	51	5
60	387	△ 43	△ 10.0	1,667	△ 274	△ 14.1	4.3	2,473	15.6	8,468	19.7	283	226	51	6
63	373	△ 14	△ 3.6	1,583	△ 84	△ 5.0	4.2	2,520	14.8	8,302	19.1	283	228	50	5

漁業

●年次別組合水揚高

(単位 千円)

種別	御 宿			岩 和 田		
	61年	62年	63年	61年	62年	63年
魚類	230,108	186,949	270,701	598,593	490,452	525,872
貝類	76,635	79,563	63,842	189,849	187,664	203,016
計	306,909	266,512	334,543	788,469	678,116	728,888

●おもな魚種別水揚量

(単位：トン)

魚種別	御 宿			岩 和 田		
	61年	62年	63年	61年	62年	63年
たい	2	3	3	5	6	6
わらさ	0	1	1	1	0	2
ひらめ	6	2	2	33	8	12
さば	1	1	0	0	0	0
ぶり	0	0	0	1	0	1
いか	60	58	44	123	126	93
かつお	100	76	130	226	147	258
いなだ	0	0	0	132	73	33
めじ	2	10	1	4	23	28
まぐろ	2	1	15	1	0	3
さより	0	1	0	0	0	0
このしろ	0	0	0	0	0	0
鮑	9	7	4	26	12	6
さざえ	17	28	23	24	33	74
雑魚	11	10	13	31	6	49
いわし	695	267	812	0	0	0
えび	1	0	0	5	4	5
計	906	465	1,048	612	438	570

●漁港施設

(63年)

項 目	御 宿	岩 和 田
	けい船岸延長 (m)	468
外かく施設延長 (m)	652	1,022
最多入港トン数 (t)	21	9
登録漁船隻数 (隻)	73	175
利用漁船隻数 (隻)	113	179

●漁業協同組合の状況

(4.1現在)

組 合	63 年			平成元年		
	計	正組合員	準組合員	計	正組合員	準組合員
御 宿	195	119	76	192	117	76
岩 和 田	466	459	7	463	457	7

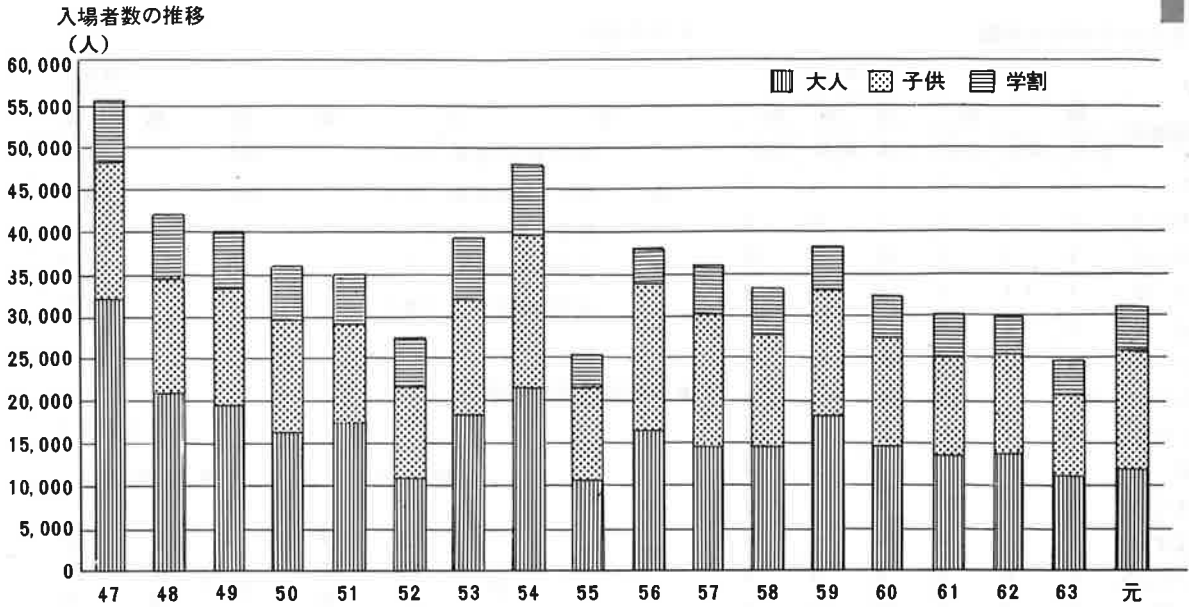
●漁種別水揚量

(単位：トン)

種 別	御 宿			岩 和 田		
	61年	62年	63年	61年	62年	63年
まき網	695	267	813	0	0	0
刺網	8	6	7	71	67	120
さば釣	1	1	0	0	0	0
いか釣	60	58	44	123	126	93
その他の釣	120	97	157	296	200	326
その他の延釣	0	0	0	0	0	0
採貝	18	35	27	50	45	15
採藻	2	0	0	0	0	0
その他の漁業	2	1	0	72	0	16
総計	906	465	1,048	612	438	570

観光

●町営プール



●観光施設及び入込数

区分		年度	40年	45年	50年	55年	60年	62年	63年
観光客数 (人)	夏季		344,000	1,120,000	1,160,000	905,000	1,406,000	792,250	762,180
	年間		396,000	1,310,000	1,311,000	1,041,000	1,659,000	1,041,000	1,038,000
旅館(軒)			8	20	21	17	17	20	24
民宿(軒)			51	200	250	270	244	260	280
貸家貸間(軒)			108	250	120	117	115	80	50
海の家(軒)			26	33	32	32	31	29	29
駐車台数(有料)			1,307	12,512	15,151	18,018	31,346	30,095	25,452
御宿駅の収入(夏季千円)			19,591	51,389	74,019	89,195	140,748	137,041	120,070
観光収入(推計千円)			249,300	369,000	942,480	1,850,805	3,686,808	2,855,450	2,996,200
町の観光投入額(千円)			4,230	56,000	12,504	20,968	30,434	54,761	80,333

商工業

●工業（製造業）の状況

年	事業所数	従業者数	年間製造品出荷額 百万円
60	35戸	489人	2,259
61	31	449	1,958
62	28	362	1,673
63	31	390	2,023

●商業の状況

産業中分類	項目	商店数	従業者数	年間商品販売額 百万円	売場面積 ㎡
卸売業計		7	28人	857	-
織物・衣服身の回り品小売業		14	45	397	1,459
飲食料品小売業		70	232	2,587	3,073
自動車・自転車小売業		5	12	104	263
家具・器具・建具小売業		16	36	254	488
その他小売業		42	154	1,877	1,517
小売業計		147	479	5,219	6,804
計		154	507	6,076	6,804

(63.6現在)

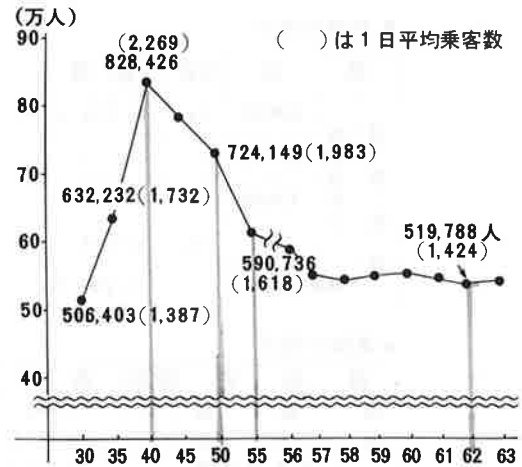
運輸・通信

●自動車保有台数

(元. 4. 1)

車種	御宿町	夷隅郡市計
普通乗用車	117	624
小型乗用車	3,305	20,217
トラック	648	3,833
貨客兼用車	312	2,087
バス	9	176
軽自動車(4輪)	2,679	13,595
特殊車	51	309
計	4,442	27,246

●御宿駅乗客数



●電話加入状況

(12.31現在)

年次	開 通 加 入 電 話 数								
	総 数			単 独 電 話 数			共 同 電 話 数		
	総 数	事務用	住宅用	総 数	事務用	住宅用	総 数	事務用	住宅用
32	184	180	3	180	180	-	-	-	-
50	2,125	994	1,131	1,888	918	970	237	76	161
55	2,879	1,103	1,776	2,689	1,047	1,642	190	56	134
60	3,283	1,185	2,098	3,213	1,173	2,040	70	12	58
61	3,320	1,289	2,031	3,291	1,187	2,104	29	12	17
62	3,420	1,230	2,190	3,395	1,219	2,176	25	11	14
63	3,648	1,307	2,341	3,628	1,302	2,326	20	5	15

建設

●建築届出件数の推移

区分年	専用住宅	旅館店舗簡易宿泊所	共同住宅	併用住宅	工場倉庫	その他	計
57	56	2	3	6	3	13	83
58	64	10	1	3	0	9	87
59	76	9	3	2	6	14	110
60	62	10	1	6	4	8	91
61	52	16	1	8	7	2	86
62	56	7	6	9	5	16	99
63	121	6	3	9	6	19	164

●林道の現況

項	目	本数	数値
林業施設	市町村	14	13,773 m
	国有	-	-
	その他	-	-
	計	14	13,773
林野面積(ka)		1,451 ka	

●町道の内訳

(元. 4. 1)

項	目	数	値	
道	実延長(m)	244,007.2		
	面積路面(m ²)	685,001.8		
	改良済延長(m)	51,414.7		
	舗装済延長(m)	67,912.8		
	自動車交通不能道延長(m)	140,179.9		
	歩道延長(m)	5,523.3		
	防護棚延長(m)	5,312.9		
	歩道橋(m)	2ヶ所	27	
	路	市町村道と鉄道との交差箇所数	7	
		うち立体交差箇所数	4	

実延長の内訳	1.5m~4.5m (m)	77,103.3
	4.5m以上 (m)	26,743.8
	計	108,347.1

●道路の現況

(元. 4. 1)

路線名	単位	町道	県道	国道	計			
路線数	本	1,446	4	1	1,451			
実延長	m	244,007.2	12,710	3,754	260,471.2			
内訳	改良済延長	m	51,414.7	10,630	3,754	65,798.7		
	未改良延長	m	192,592.5	629	-	193,221.5		
内種別	橋梁延長	m	90ヶ所 524.4	117	14	655.4		
	隧道延長	m	9ヶ所 448.9	71	339	858.9		
幅員別内訳	改良済	1.3m以上	m	38.9	7	-	45.9	
		5.5m以上	m	3,813.8	7,242	3,532	14,587.8	
		5.5m未満	m	26,393.4	3,491	222	30,106.4	
	未改良	5.5m以上	m	-	-	-	-	
		3.5m以上	m	-	-	-	-	
3.5m未満	m	191,267.1	629	-	191,896.1			
自動車交通不能	m	139,196.5	-	-	139,196.5			
路面別内訳	舗装道	砂利道	m	176,094.4	-	-	176,094.4	
		セメント系	高級	m	4,522.7	84	339	4,945.7
			簡易	m	-	7,041	3,415	10,456
			計	m	63,390.1	4,133	-	67,523.1
		計	m	67,912.8	11,258	3,754	82,924.8	

防 災

●災害時の避難場所

名 称	所 在 地	電 話
御宿小学校	久保 2085	68-2009
御宿中学校	新町 68	68-2101
岩和田小学校	岩和田 1075	68-2254
岩和田青年館	〃 788	68-4392
サンドスキー場（避難集合地）	〃 1354	
布施小学校	上布施 909	68-2437
実谷区民館	実谷 586	68-5970
八坂神社（避難集合地）	須賀 525	
御宿家政高校	久保 1551	68-2911
B & G 海洋センター体育館	〃 1135	68-4143

●消防の施設状況

元. 3. 31

消 防 ポ ン プ 車	7
水 そう 付 ポ ン プ 車	1
小 型 ポ ン プ	3
指 揮 広 報 車	1
消 火 水 そ う	82
消 火 栓	59

●消防団

団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	計
1	3	15	8	9	49	180	265

●火災事故発生件数

年 次	火 災 件 数				焼 失 面 積 (㎡)		損害額 (千円)
	総 数	建 物	山 林 原 野	そ の 他	建 物	山 林 そ の 他	
58	1	1	0	0	452	0	9,700
59	0	0	0	0	0	0	0
60	0	0	0	0	0	0	0
61	3	2	1	0	212	1,500	12,957
62	0	0	0	0	0	0	0
63	0	0	0	0	0	0	0

●防災無線受信装置設置場所 (固定系システム)

番号	名 称	番号	名 称
1	御宿随道	15	高山田-2
2	御宿漁港	16	西林寺
3	中央海水浴場	17	上布施-1 (新宿)
4	岩和田海水浴場	18	上布施-2 (新宿)
5	岩和田漁港	19	上布施-3 (小幡)
6	岩和田火の見脇	20	上布施-4 (小幡)
7	六軒町	21	上布施-5 (立山)
8	新町公園	22	上布施-6 (新久井)
9	須賀町道	23	上布施-7 (新久井)
10	須賀 (久保)	24	上布施-8 (実谷下)
11	御宿中学校	25	実谷上公会堂
12	町営グラウンド	26	七本-1
13	高山田-1	27	七本-2
14	第6分団器具置場		

●移動系システム

役場に設置された基地局無線装置と車携帯型陸上移動局による情報の伝達、収集システムです。行政事務の連絡や災害時の情報収集を行います。

基地局 (制御器 6 台)	1 局
陸上移動局、車携帯型	17 局
ショルダー型	8 局
携 帯 型	3 局

●交通事故発生件数の推移

(1. 1 ~ 12. 31)

年	区 分		
	発生件数	死者数	負傷者数
58	34	0	43
59	40	0	64
60	49	0	71
61	31	1	39
62	54	1	82
63	50	0	84

保 健

●胃がん検診受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受診率
62年度	2,519人	401人	15.9%
63年度	2,500人	410人	16.4%
元年度	2,111人	771人	36.5%

●乳がん検診受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受診率
63年度	2,096人	218人	10.4%
元年度	1,485人	261人	17.6%

●子宮がん検診受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受診率
62年度	2,243人	234人	10.4%
63年度	2,096人	214人	10.2%
元年度	1,459人	284人	19.5%

●健康診査受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受診率
62年度	1,617人	906人	56.0%
63年度	1,322人	757人	57.3%
元年度	1,735人	842人	48.5%

国 保 ・ 年 金

国民年金受給者の状況

●福祉年金(円)

年度	種別	老 齢		障 害		合 計	
		件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
61		283	92,371,000	57	39,296,600	340	131,667,600
62		247	70,873,797	55	41,502,200	302	112,375,997
63		199	61,426,661	5	1,537,400	204	62,964,061

●国民健康保険加入者及び給付の状況

区分 年度	加 入 者			医 療 費	
	世帯	加入者	加入率	医療費額(千円)	増加率
61年度	1,625	4,446	52.5%	392,239	106.9
62 "	1,630	4,379	52.1%	398,833	101.7
63 "	1,648	4,281	51.5%	418,247	104.9

●基礎年金(円)

年 度	老 齢 年 金		通 算 老 齢 年 金		障 害 年 金		母 子 年 金		遺 児 年 金		寡 婦 年 金		合 計	被 保 険 者 数	
	老 齢 基 礎 年 金		障 害 基 礎 年 金		遺 族 基 礎 年 金										
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額			
61	1,041	337,679,000	149	21,461,000	41	30,735,000	12	9,528,000			5	1,985,000	1,274	410,779,000	2,495
	26	9,391,000			-	-	-	-							
62	1,084	352,664,800	157	23,439,900	42	31,386,800	9	7,517,500			5	1,998,800	1,381	450,089,900	2,424
	76	26,660,500			9	5,795,100	1	626,500							
63	967	321,542,300	154	23,924,400	38	28,255,300	7	5,707,100			5	2,036,200	1,376	483,729,000	2,352
	133	48,230,800			68	51,775,000	4	2,257,900							

環境

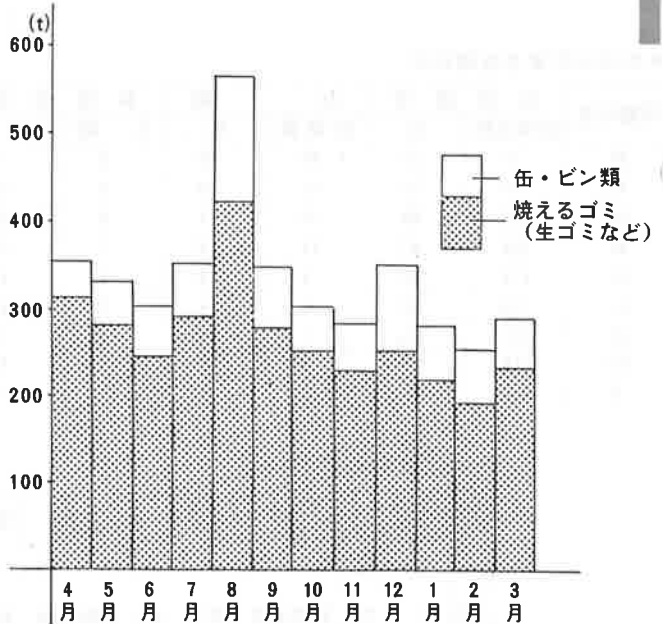
● ゴミ収集の状況

年度	区分	可燃物	不燃物	合計	燃却日数
61		3,152 ^t	439 ^t	3,591 ^t	153 ^日
62		3,218	544	3,762	155
63		3,484	654	4,138	165
元 (4~9月)		1,765	1,219	2,984	94

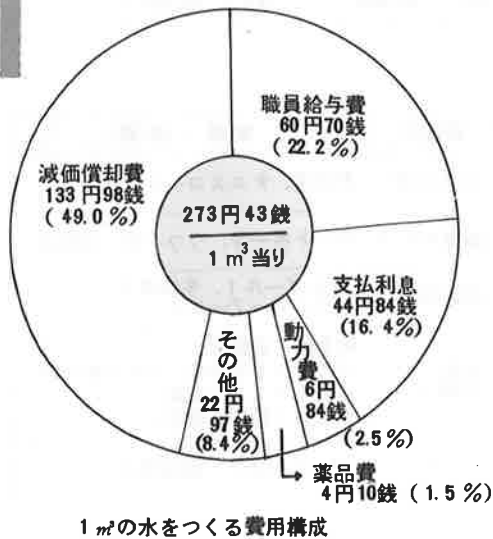
● し尿処理施設 (夷隅郡環境衛生組合)

処理計画人口(人)	8,325	
処理人口(人)	4,315	
年間総排出量(kl)	2,050	
年間総収集量(kl)	2,050	
年間総処理量(kl)	下水マンホール投入	0
	処理施設処理	2,050
	その他	0
	計	2,050
収集職員数(人)	3	
バキューム車	1	

● 月別ゴミ収集量 (63年度)



上水道



● 水道ダイジェスト (63年度決算から)

区分	単位	63年度	元年度	増減
年度末給水人口	人	4,426	4,539	113
年度末給水戸数	戸	1,551	1,639	88
年間取水量	m ³	554,300	601,855	47,555
年間給水量	m ³	528,965	577,283	48,318
年間使用水量	m ³	491,727	505,770	14,043
1カ月平均給水量	m ³	44,080	48,107	4,027
1カ月平均使用水量	m ³	40,977	42,148	1,171
1日最大給水量	m ³	3,935	4,470	535
1日最大使用水量	m ³	3,754	4,139	385
1戸1カ月平均使用水量	m ³	26.4	25.7	△0.7
1人1日平均使用水量	ℓ	304	305	1
月平均給水収益	千円	6,733	8,075	1,342
給水原価	円・銭	315.65	273.43	△42.22
資本費	円・銭	185.54	178.67	△6.87
施設利用率	%	24.1	26.4	2.3

教 育

●町立小・中学校の児童・生徒・教職員数

(元・5)

学校名	児童生徒数	学級数	教員数	事務 栄養職員	調理員	用務員
御宿中	368	11(1)	21	1	3	
御宿小	366	14(2)	21	2	4	
岩和田小	90	7(1)	11	1		
布施小	179	7(1)	11	1		1
計	1,003	39(5)	64	5	7	1

() はうち特殊

●児童・生徒数の推移

年度	区分 児童生徒数		
	総数	小学校	中学校
30	2,063	1,659	404
40	1,828	1,153	675
50	1,220	848	372
60	1,155	773	382
61	1,136	755	381
62	1,080	714	366
63	1,039	670	369
元	1,003	635	368

●中学校卒業生進路状況

卒業年度	高校進学		就職		各種学校		計
	進学者数	%	就職数	%	人数	%	
35	71	51	66	48	2	1	139
45	130	72	42	23	8	5	180
50	128	88	10	7	8	5	146
55	124	87	11	8	7	5	142
60	117	97	2	2	1	1	120
61	115	92	5	4	5	4	125
62	127	95	4	3	2	2	133
63	116	94	3	2	5	4	124
元	113	95	5	4	1	1	119

●社会教育施設利用状況

(人)

年 度	公 民 館		資 料 館		海洋センター体育館		同 プ ール	
	一 日 平 均	年 間 利用者数	一 日 平 均	年 間 利用者数	一 日 利用者数	年 間 利用者数	一 日 平 均	年 間 利用者数
61	119.7	35,803	5.5	1,660	181	53,616	127	11,975
62	111.6	33,703	7.6	2,301	173	51,376	94	12,195
63	107.5	32,358	7.2	2,164	169	49,612	142	12,921

●文 化

名 称	所在地	施設・内容
公 民 館	久保 2200	調理実習室、和室、茶室 大ホール、大・中会議室 クラブ集會室、絵画工作 室、視聴堂室 図書室、蔵書約 6,500 冊
歴 史 民 族 資 料 館	久保 2200	展示室、町指定文化財、 メキシコ関係、考古、歴 史、農具、漁具関係 約 970 点展示

●スポーツ

名 称	所在地	施設・内容
町 営 運 動 場	久保 1135	野球場、テニスコート 3 面
須賀多目的広場	須賀 514-1	ゲートボール、ソフトボールなど
町 営 プ ール	須賀 2208	50m プール 1、子供用 1 スライダープール 1
海 洋 セ ン タ ー	久保 1135-1	体育館、会議室 バスケットボール、バレーボール バドミントン、卓球 その他(剣道、空手)
海 洋 セ ン タ ー プ ール	〃	25m プール 1、幼児用 1

姉妹都市

【姉妹都市】

アカプルコ市（メキシコ）

昭和53年8月姉妹都市協定締結



指定文化財

区分	番号	名称	所在地 所在地 指伝承地	所有者 又伝承地	指定年月日
県指定	1	ドン・ロドリゴ上陸地	御宿町岩和田 626	御宿町	41. 12. 2
町指定	1	ドン・ロドリゴ関係遺品	御宿町久保 1, 916	岩瀬 禎之	49. 3. 27
"	2	木造阿弥陀如来坐像	御宿町浜 572 - 1	妙音寺	"
"	3	亀甲地双鶴鏡	"	"	"
"	4	白銅鏡	"	"	"
"	5	木造大日如来坐像	御宿町上布施 1, 474	真常寺	"
"	6	木造如意輪観音坐像	"	"	"
"	7	十王堂縁起	御宿町六軒町	十王堂	"
"	8	最明寺夫婦銀杏	御宿町須賀 668	最明寺	53. 3. 27
"	9	旧役場大蘇鉄	" " 160	御宿町	"
"	10	双盤	" " 668	最明寺	54. 6. 27
"	11	小幡神楽囃子	" 上布施小幡区	保存会	57. 6. 29
"	12	高山田神楽囃子	" 高山田区	保存会	57. 9. 28
"	13	千人塚供養塔	" 新町字千人塚	妙昌寺	59. 1. 11
"	14	閻魔胎内像・十王像	" 六軒町	十王堂	"
"	15	伊勢参宮絵馬	" 上布施	八幡神社	"
"	16	真常寺石塔	" 上布施 1, 474	真常寺	"
"	17	木造阿弥陀如来及び両脇侍像	" 六軒町	十王堂	60. 2. 12
"	18	木造阿弥陀如来坐像	" 浜 618 - 1	観音寺	"
"	19	木造傳祐上人坐像	" 須賀 668	最明寺	"
"	20	紙本着色大田喜瀧陣列之図	" 久保 2, 200	御宿町	61. 1. 14
"	21	旧布施村絵図	" 実谷	実谷区	62. 2. 19
"	22	千箇寺参御首題帳	" 上布施 1, 800	吉野 信	"
"	23	孝女竹永志保の碑	" 上布施 827	上布施区新宿	62. 10. 27

御宿町暮らしのダイジェスト

<p>人口密度</p>  <p>1 km² に 329 人</p>	<p>家族</p>  <p>1 世帯に 3.3 人</p>	<p>転入</p>  <p>1.3 日に 1 人</p>	<p>転出</p>  <p>1.2 日に 1 人</p>
<p>結婚</p>  <p>11 日に 1 組</p>	<p>離婚</p>  <p>73 日に 1 組</p>	<p>出生</p>  <p>5.2 日に 1 人</p>	<p>死亡</p>  <p>3.9 日に 1 人</p>
<p>火災</p>  <p>0 件</p>	<p>交通事故</p>  <p>7.3 日に 1 件</p>	<p>水道使用量</p>  <p>1 人 1 日平均 305 ℓ</p>	<p>ゴミ</p>  <p>1 日平均 11.3 トン</p>
<p>町職員</p>  <p>町民 92 人に 1 人 (元年10月1日現在)</p>	<p>教員</p>  <p>小学生15人に1人 中学生18人に1人 (元年5月1日現在)</p>	<p>商店</p>  <p>16 世帯に 1 店</p>	<p>町税</p>  <p>1 人当たりの負担 78,555 円</p>
<p>自動車</p>  <p>1 世帯に 2.4 台</p>	<p>電話</p>  <p>1 世帯に 1.8 台</p>	<p>救急車出動</p>  <p>2.7 日に 1 件</p>	<p>町の台所</p>  <p>一般会計からの支出額 町民1人当たり261,008 円</p>



日西墨三国交通発祥記念碑
(メキシコ記念塔)



童謡「月の沙漠」記念像

町内の官公署・団体施設一覧

●役場関係

〒 299-51
市外局番 0470

御宿町役場	久保 2200	☎ (68) 2511
公民館	〃 2200	☎ (68) 2947
歴史民族資料館	〃 2200	☎ (68) 4311
御宿町児童館	新町 419	☎ (68) 4542
岩和田児童館	岩和田 788	☎ (68) 4392
社会福祉協議会	久保 2200	☎ (68) 2511
御宿海洋センター	〃 1135 - 1	☎ (68) 4143
清掃センター	〃 1041	☎ (68) 4613
浄水場	実谷 519	☎ (68) 4855
町営運動場 (管理棟)	久保 1135	☎ (68) 4794

●学校施設

御宿保育所	久保 2180	☎ (68) 2459
岩和田保育所	岩和田 926	☎ (68) 2944
御宿小学校	久保 2232	☎ (68) 2009
岩和田小学校	岩和田 1703	☎ (68) 2254
布施小学校	上布施 909	☎ (68) 2437
御宿中学校	新町 68	☎ (68) 2101
県立御宿家政高等学校	久保 1511	☎ (68) 2911

●警察

駅前駐在所	須賀 188	☎ (68) 2100
六軒町駐在所	六軒町 488	☎ (68) 2719
布施駐在所	上布施 875	☎ (68) 4499

●その他

御宿駅	須賀 191	☎ (68) 2053
御宿郵便局	新町 397	☎ (68) 2871
布施郵便局	上布施 1400	☎ (68) 2870
御宿町漁業協同組合	浜 2164	☎ (68) 2611
岩和田漁業協同組合	岩和田 945	☎ (68) 2011
夷隅中央農協御宿支所	須賀 167	☎ (68) 2424
運輸省御宿航空標識所	岩和田 1171 -3	☎ (68) 2654
御宿町観光協会	久保 2200	☎ (68) 2414
御宿町体育協会	〃 2200	☎ (68) 2947
御宿町商工会	〃 2200	☎ (68) 2818
御宿町商店振興会	〃 2200	☎ (68) 2818
御宿町民宿組合	須賀 191	☎ (68) 2325
御宿町旅館組合	〃 191	☎ (68) 4419